

2023年1月24日(火)

UTmobI フォーラム開催のご案内



主催：東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構

東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構（UTmobI）は、学内の8部局が連携し、自動運転を中心とした革新的なモビリティ研究を行う研究組織です。柏キャンパスを主なフィールドとして活動し、イノベーションのデザイン・ビッグデータ解析・ヒューマンインタフェース（HMI）の基礎研究を推進し、学の連携・融合によるモビリティ・イノベーションに資する知の体系化と地域社会実装を推進しています。

今年度は、モビリティサービスの事業に焦点をあて、東京大学以外の方にも講演して頂きます。

年初でご多忙中とは存じますが、企業・地方公共団体・公設試験研究機関・大学・産業支援機関等の幅広い方々に、奮ってご参加いただきますようご案内申し上げます。

日時	2023年1月24日(火)【受付開始】9:30～【フォーラム】10:00～17:10
場所	オンサイトとオンラインのハイブリッド開催 東京大学柏の葉キャンパス駅前サテライト 1階多目的ホール 〒277-0871 千葉県柏市若柴178番地4 https://www.satellite.u-tokyo.ac.jp/accessmap/
定員	オンサイト(先着40名)、オンライン(定員なし)
参加費	無料
資料代	無料 * 資料については参加お申込みの方に追ってご連絡いたします。
お申込み	参加ご希望の方は下記 Web ページからお申込みください。 モビリティ・イノベーション連携研究機構ホームページ: https://utmobi.u-tokyo.ac.jp/ ※参加申込締切:2023年1月20日(金)

プログラム

10:00～10:10	開講挨拶
10:10～10:50	須田 義大 東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構長・生産技術研究所 教授 「新たなモビリティ社会に向けたモビリティ・イノベーション」(仮) 現在、CASE や MaaS に加えて、ポストコロナやカーボンニュートラルを踏まえた新たなモビリティ社会に向けた、自動運転の実装など総合的な研究開発が求められている。文理融合による総合智での取り組みを試みている UTmobI の活動を中心に、モビリティ・イノベーションの動向について紹介する。
10:50～11:30	中村 文彦 東京大学大学院新領域創成科学研究科 特任教授 「都市のバス輸送の現在と未来」 道路交通分野でさまざまな技術革新が進展し、自動運転の社会実装も進む中で、都市において重要な役割を担っているバスシステムはどのように変わるべきか、バス輸送の現在の課題を整理し、計画やマネジメント、あるいは技術での先進的な事例および取り組みを概観した上で、未来のバスのあり方を議論する。
11:30～13:30	～ 昼休み ～ 自動運転バスの試乗（オンサイト参加者限定）

13: 30～14: 10	天野 肇 モビリティ・イノベーション・アライアンス 理事長 「自動運転の国際動向とモビリティのイノベーション」
自動運転に関する欧州・米国それぞれの特徴的な取り組みが進む中でともに節目を迎えている。SIP-adus Workshop 2022 で行ったパネルディスカッションでは、日米欧を代表するリーダーが、過去 10 年の成果、残された課題、将来展開について忌憚のない意見を交わした。そこから自動運転や MaaS を活用した社会課題解決や価値創造に向けたモビリティ・イノベーションの方向性を読み解く。	
14: 10～14: 50	長谷川 悠 東京大学生産技術研究所 特任研究員 「新サービスの視点で考える自動運転の可能性」
モビリティを活用したビジネスイノベーションコンテスト(M-BIC)で提案されたアイデアから、自動運転ならではの価値を生かした、自動運転にしかできない新サービスとは何かを論じる。それに基づき、サービスやビジネスの観点から、自動運転普及の新たなアプローチの可能性を提示する。	
14: 50～15: 30	今井 猛嘉 法政大学専門職大学院 法務研究科 教授 「自動運転に関する法整備：現状と課題」
日本でもレベル 4 相当の自動運転が利用可能になったが、旅客及び貨物輸送の領域での需要や、個人の様々な希望に対応するには、技術の発展に即した更なる工夫が必要である。レベル 4 相当の技術を活用し、継続的なサービスを提供するためには、どのような制度改正が望ましいのかにつき、法的観点からの話題提供と将来像の提示を試みる。	
15: 30～15: 40	休憩
15: 40～16: 20	加藤 真平 東京大学大学院情報理工学系研究科 准教授 「自動運転の民主化に向けたオープンソースとスタートアップの活用」
自動運転技術の研究開発は個々の企業ごとでは成しえない。オープンソースによる裾野の拡大とスタートアップによる新たな垂直統合の産業構造の可能性について述べる。	
16: 20～17: 00	三好 博昭 同志社大学政策学部・総合政策科学研究科 教授 「自動運転の普及と社会経済インパクト」
自動運転の普及や、それが交通事故削減等社会経済に及ぼすインパクトを、戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第2期／自動運転(システムとサービスの拡張)における研究成果に言及しながら議論する。	
17: 00～17: 10	閉講挨拶



ITS R&R 実験フィールド



大型車用ドライビングシミュレータ



試験用交通信号機



自動運転バス

アクセス

- 東京大学柏の葉キャンパス駅前サテライト
1階多目的ホール

駐輪場、駐車場はありません。
近隣の施設の駐車場等をご利用ください。

